

令和５年度 蔵書評価 実施報告

実施日 令和５年９月２９日（金） １５：００～１７：００
評価分野 法律（主に分類番号３２０～３２９）の図書及び雑誌
評価者 弁護士 ２名
評価方法 評価分野の蔵書を評価者が確認し、専門家の視点から蔵書の構成や排架などについて気づいた点を指摘する。

〈診断結果（概要）〉

○総評・留意点

- ・法改正の情報をこまめにチェックし、資料収集に活かすとよい。
- ・法律相談シリーズは一般向けでもあるので揃えるとよい。
- ・法律ごとに基本書を定め、新版が発行されたら入れ替え、常に開架に置くとよい。
- ・他分類の棚に排架されている特別法の場所を案内するとよい。

○分類別評価

- ・こども六法は人気があるので関連書籍も順次揃えるとよい。
- ・ローマ法関係の蔵書の追加を検討されたい。
- ・憲法をわかりやすく説明する一般向けの書籍がもう少しあるとよい。
- ・成年年齢引き下げに関する事項は関心が高いので、引き続き関連書籍を揃えるとよい。
- ・開架に排架している書籍のシリーズが改訂される場合は、改訂された巻から順に入れ替え、未刊行の巻は改訂版が発行されるまで開架に並べておくるとよい。
- ・最高裁判例解説は、開架に全てを並べることが不可能なら、索引だけでも開架に並べるとよい。
- ・専門的なシリーズとなっている書籍は開架でなくてもよく、開架には一般向けの書籍を並べるとよい。
- ・起業が盛んになっているので、会社設立に関する書籍を充実させるとよい。
- ・刑事再審に関する事項はタイムリーな話題であり、関連書籍を揃えるとよい。
- ・国際取引については、ガイドラインのような、いわゆるソフト・ローが支配することが多いので、その分野の書籍を充実させるとよい。

〈今後の対応〉

- ・指摘を受けた資料の収集・排架を検討する。
- ・法律ごとに基本書とするものを定め、新版刊行の都度、最新版に入れ替える。
- ・案内表示を検討する。